

# 芦安小中学校 学校関係者評価書（前期）

令和3年8月24日（火）

学校関係者評価委員会作成

## 第1回芦安地区学校関係者評価委員会

実施日：令和3年8月24日（火）

方法：紙上提案 → 意見聴取 → まとめ

参加者：学校関係者評価委員

- 委員長 疋田 真祐（芦安小中学校PTA会長，学校評議員）
- 副委員長 洲貝 麻里（芦安小中学校PTA副会長，学校評議員）
- 委員 清水 准一（芦安ファンクラブ会長，学校評議員）
- 委員 清水 実（芦安子を守る会会長，学校評議員）
- 委員 有野 敏也（南アルプス市交通安全協会監事，学校評議員）
- 委員 伊東 隆雅（芦安地区保護司，学校評議員）
- 委員 倉園 光代（主任児童委員，学校評議員）
- 委員 塚原 利幸（芦安窓口サービスセンター長，学校評議員）
- 委員 森本 章雄（芦安地区学校応援団代表，学校評議員）
- 学校職員 <小学校> 校長・石田史明，教頭・石川和樹
- <中学校> 校長・小林雅人，教頭・今村洋仁

### 1. 学校側からの提案した内容

- ① 学校経営方針，ランドデザインについて
- ② 学校評価の方法について
- ③ 評価の全体的な傾向について
- ④ 教職員自己評価（前期）の結果について
- ⑤ 保護者アンケート（前期）の結果について
- ⑥ 児童生徒アンケート（前期）の結果について
- ⑦ 今後の学校経営・運営について

### 2. 検討していただいた主な内容

- ① 教職員自己評価（前期）の結果について
- ② 保護者アンケート（前期）の結果について
- ③ 児童生徒アンケート（前期）の結果について
- ④ 各項目の評価・達成状況・改善策について
- ⑤ 児童生徒の様子・小中一貫校の取組について
- ⑥ 今後の芦安地区の教育のあり方について

### 3. 学校への意見・要望・感想等〈小中〉

#### (1) 学校経営・学校運営

- ・児童生徒一人一人に対して、先生方の丁寧で心と心が通うご指導をしていただいているのが伝わり、一保護者としてとてもありがたく嬉しく感じています。まだまだ大変な状況は続きそうですが、今できることを丁寧に行っていけたらと思います。
- ・自己評価の通り、引き続きお願いします。

#### (2) 学習指導

- ・児童生徒の一人一人の特性をよく理解し、きめ細やかな対応を下さり、ありがとうございます。芦安ならではの「リアルな体験」は、きっと子どもたちが大人になった時、何かの役に立つものと信じています。
- ・少人数学級でしかできない特性を活かし行っている実践的な英語教育を継続し行い、英会話によるコミュニケーション能力の向上に努め、インターネット等により交流する機会を設けることも必要だと思う。
- ・自己評価の通り、引き続きお願いします。

#### (3) 生徒指導

- ・相互のコミュニケーションを大切に下さり、ありがとうございます。いじめなどの問題は、子どもたちだけでなく、親同士のすれちがいにより、より大きな問題に発展することもあるので、互いのすれちがいや誤解を少なくするためにも、できるだけオープンな子ども・親・先生間の話し合いがよい場合があると感じています。また、子どもがいじめを受けた（と感じられる）側になった場合、そのとらえ方を「いじめたあいつが100%悪い」とならず、また自分自身も責めず、お互いを大切にするような方向で解決できたらと思います。
- ・全国各地で悲惨な出来事が起きている。児童生徒一人一人の声を聞き、信頼関係を築いていって下さい。
- ・自己評価の通り、引き続きお願いします。

#### (4) 保護者・地域との連携

- ・小中学校が保護者・地域・関係団体と情報共有をしっかり行い、地域とともにある学校として「芦安郷育」を実践して行ってください。
- ・コロナ禍で地域の方々とコミュニケーションをとる機会がなく、残念です。早く集えるようになって欲しいです。
- ・自己評価の通り、引き続きお願いします。

#### (5) 学校の特徴ある取組

- ・小中一貫校の取組や自然体験等が子どもたちにもたらす効果を生かして、今後も特徴ある学校づ

くりを推進していってください。

- 活動が難しい中、先生方が子どもたちのためによく考えて下さり、様々な活動ができたことは、とてもよかったと感じています。櫛形山登山では、雨の中の山登りでしたが、そんな中でも子どもたちが楽しく登れるよう先生や芦安ファンクラブの方々のご指導や声かけが温かく、素晴らしい山登りでした。
- 自己評価の通り、引き続きお願いします。

#### (6) その他

- なかなか思うように行事などもできず残念ですが、あと半年微力ながら、協力できることは協力させていただけたらと思います。日々の先生方のご尽力に感謝しています。
- 現在、コロナ禍により、様々な行事等を実施することが困難で支障をきたしていると思いますが、そのような中でも学校生活が児童生徒の大切な思い出となるような取組をよろしくお願いたします。
- 新型コロナウイルス感染拡大下で強いストレスにさらされている子どもたちを支えようと日頃努力している先生方に敬意を表します。
- コロナ禍（蔓延防止等重点措置）で直接子どもたちの活動を見ることができなくてとても残念です。仕方ないことですが、来年こそは子どもたちの頑張っている様子が見れたらいいなと思います。先生たちも子どもたちの為に対策を考えたりとても大変だと思います。少しでも子どもたちが楽しい学校生活を送れる様、これからもよろしくお願いたします。
- コロナ禍においてそれぞれの小中学校で対応に苦慮していることと思っています。その中で各学校の伝統行事など細心の予防対策に注意を払い実施していることもあると思われますが、児童生徒にとっては大切な経験と体験です。工夫と予防対策の中で、できるだけ実施されることを望みます。また、昨今、全国で実施された学力テスト・体力テストの結果を見ると、山梨県は平均値よりも低い結果が出ました。学力・運動不足が指摘されていますので、こういったことも視野に入れて今後の取組に努力してほしいと思います。

#### 4. 分析・評価

- 自己評価に関して学校関係者評価委員の方々から得られた指導・助言・感想等を真摯に受け止め、1つ1つの項目について児童・生徒の実態を踏まえて具体的な手立てを講じながら学校運営の工夫・改善を行うとともに、学校教育目標の実現に向けて「芦安郷育」及び「小中一貫教育」をさらに推し進めていきたい。
- 今年度はGIGAスクール構想として1人1台パソコンの導入により、校内研究のサブテーマにICTの活用が加わり、個別最適な学びと協働的な学びの研究に向けて取り組み、ICTの活用が主体的・対話的で深い学びにつながっていくように、より一層研究を深めていきたい。
- 2学期の始めに、新型コロナウイルス蔓延防止等重点措置のため、学校行事やPTA活動・小中

連携や地域との連携活動に中止もしくは変更が出てしまったが、今後、取組を工夫しながら活動の幅を広げていきたい。

- 家庭学習については、家庭学習と授業との有機的な結びつきを意識した授業づくりに取り組み、宿題から自主学習へと発展できるように、自主学習ノート等も活用しながら「主体的な学び」を目指し指導していきたい。また、不登校傾向の子どもたちにICTを活用した授業参加を促しており、継続して取り組んでいきたい。
- 子どもたちの人間関係づくりに不安を抱いている児童・生徒・保護者が一部いることを踏まえ、生徒一人ひとりとの対話を大切にし、コミュニケーションを積極的に行うことで生徒理解に努めていきたい。また、不登校傾向による別室指導が必要な生徒や教室で落ち着いて授業が受けられない生徒に対して、職員全員で常に情報共有しながら丁寧に対応すると同時に、今後も継続してスクールカウンセラー等の専門家に指導・助言をあおぎ、日々の微妙な変化の見取りを大切にしながら、よりきめ細かい対応をしていきたい。
- 地域や保護者との日常の対話を大切にしながら、家庭訪問・面談・電話連絡・アンケート等で、学校への意見や要望等の吸い上げを積極的に行って学校運営に生かすと同時に、学校ホームページや学校だより・学年だより等で定期的に学校の教育活動の情報発信を行い、その都度必要な情報をメールや電話（地域には回覧板）等を使って連絡を取り合いながら、今後も継続した連携に向けて情報共有を図っていきたい。
- 本校の特色である自然体験活動として1学期は、学校林整備・自然パトロール・自然学習・全校登山等の活動を計画的に仕組むことができおり、今後も活動が充実するように引き続き関係団体と連携しながらさらに工夫・改善を図っていきたい。